AudioComm®

AM/FMデジタル選局ラジオ

RAD-F6228M-K/-W

取扱説明書

07-7908~9

このたびは、AudioComm AM/FMデジタル選局ラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。

目　次

MEMO

⚠警告

	●煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。 すぐに機器本体の電源スイッチを切ってください。 煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 禁止	●屋外で使用していて、雷が鳴り出したら、ワイヤーアンテナは外し使用を中止してください。 落雷の原因となります。
	●内部に水などが入った場合は、電池を抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	水かけ禁止	●浴室やシャワー室では使用しない。 浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。 火災や感電の危険があります。
	●機器の内部に異物が入った場合は、電池を抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	 分解禁止	●本体を修理、改造しないでください。 火災・感電の原因となります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に阻止するためにいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡や大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりケガをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止が描かれています。）

⚠注意

禁止

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

乾電池の電極性に注意

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。
間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

●指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、アルカリとマンガンなど種類の異なる電池を一緒に混ぜて使わないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

アンテナに注意

●持ち運びするときは、ロッドアンテナを収納し、ワイヤーアンテナを外してください。
そのまま持ち運びするとアンテナが引っ掛かったりしてけがの原因になることがあります。

音量に注意

●イヤホンをご使用になる時には、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電源について

乾電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

●乾電池が液漏れしたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることもあるので、販売店、または弊社修理窓口にご連絡ください。
液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐにきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。液が体や衣服に付いたときも、すぐにきれいな水で洗い、皮膚にけがや炎症あるときは医師に相談してください。

⚠警告

●飲み込む恐れがあるので乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
●機器の表示に合わせてプラス⊕とマイナス⊖の極性を正しく入れる。
●充電しない。火の中に入れない。分解、加熱しない。
●金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
●液漏れした電池は使わない。
●使い切った電池は取り外す。長時間使用しないときも取り外す。
●新しい電池と使用した電池、種類の違う電池(アルカリ電池、マンガン電池など)を混ぜて使わない。

⚠注意

●火のそば・直射日光の当たる所・炎天下の車中などの高温の場所で使用・保管・放置しない。
●外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
●指定された種類以外の電池は使用しない。

電源について

⚠注意　電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行ってください。

電池を入れる（電池交換の方法）

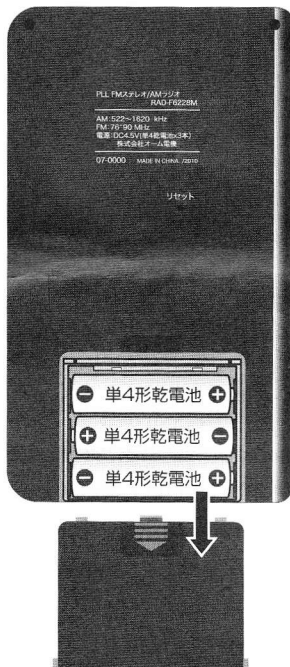
本体背面にある電池ボックスのふたの矢印部分を押しながら矢印方向へスライドさせてふたを開けます。単4形乾電池3本を電池の極性に注意して入れ、ふたを閉めます。（図参照）

電池交換の目安

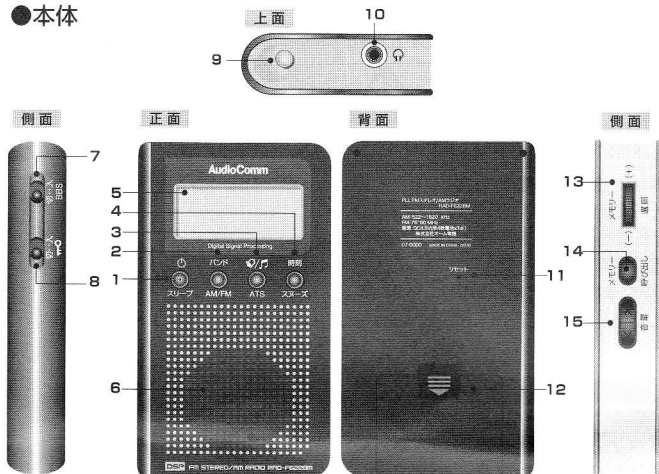
電池が消耗すると液晶画面の電池残量マークが点滅します。3本とも新しいものに交換してください。

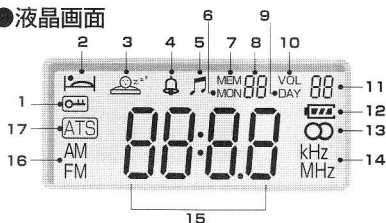
※電池を取り出して60秒以内に新しい電池を入れますと、メモリーと時刻は記憶されますが、60秒を超えますとリセットされてしまいます。リセットされた場合には再設定が必要です。

※アルカリまたはマンガン乾電池をご使用ください。（充電式電池は使用しないでください。）

注意:長期使用しない時は液漏れを防ぐため、乾電池は取り外してください。

※プラス⊕とマイナス⊖極性に注意してください。

各部の名称

●本体

1 電源ボタン
2 バンド/AM/FMボタン
3 アラーム/ATSボタン
4 時刻/スヌーズボタン
5 液晶画面
6 スピーカー
7 BBSスイッチ
8 ロックスイッチ
9 FMロッドアンテナ
10 イヤホンジャック
11 リセットスイッチ
12 電池ボックス
13 メモリー/選局つまみ
14 メモリー呼び出しボタン
15 音量ボタン

●液晶画面

1 ロックマーク
2 スリープマーク
3 スヌーズマーク
4 アラームマーク
5 アラームラジオマーク
6 月マーク(カレンダー)
7 メモリーマーク
8 メモリー/月表示
9 日マーク(カレンダー)
10 音量マーク
11 音量/日付け表示
12 電池残量マーク
13 FM ステレオマーク
14 周波数単位表示
15 周波数/時計表示
16 ラジオAMマーク(時計AM)FMマーク
17 オートスキャンマーク

ラジオ放送を聴く

FMロッドアンテナ
ステレオイヤホン
(約110cm)
イヤホンジャック
バンド/AM/FMボタン
電源ボタン
メモリー呼び出しボタン
(=)音量ボタン(+)
メモリー/選局つまみ

1. イヤホンで聴く時はイヤホンジャックに付属のイヤホンを接続します。
2. 電源ボタンを押して電源を入れます。
3. 音量ボタンで音量を調節し、バンド/AM/FMボタンを押してお聴きになるバンドを選びます。

※次に電源を入れた時には、電源を切る前に受信していたバンドから始まります。

4. FMステレオで弱い信号を受信しますとノイズが多くなる場合があります。FMの状態でバンド/AM/FMボタンを約2秒間押し続けますとモノラルに切り替わりノイズの少ない状態で受信出来ます。ステレオに戻す時にはバンド/AM/FMボタンをもう一度約2秒間押し続けて下さい。

(注)スピーカーでFMステレオ放送を受信しますとモノラルになります。

5. メモリー/選局つまみを(+)または(—)方向にスライドさせ、周波数を合わせてください。
6.. 聞き終わりましたら、電源ボタンを押して電源を切ってください。

自動選局機能の使い方

メモリー/選局つまみを(+)または(—)方向に約2秒以上スライドさせたままにすると、自動選局機能が働きます。(+)の場合は周波数が高い方へ、(—)の場合は低い方へそれぞれ自動選局されます。

ラジオ放送を聴く

メモリー選局機能の使い方

本体はFM20局、AM10局のメモリー選局が出来ます。

1. バンドを選び、メモリー／選局つまみの(ー)(+)で放送局を選局します。
2. メモリー／選局つまみを押すと液晶画面にP01が点滅します。
3. メモリー／選局つまみの(ー)(+)でメモリー番号(AM P01〜P10／FM P01〜P20)を決定します。
4. もう一度メモリー／選局つまみを押すと放送局が登録されます。
5. メモリー呼び出しボタンを押すと液晶画面のMEMが点滅します。
6. メモリー／選局つまみの(ー)(+)でメモリー局を呼び出します。

ATS機能の使い方

本機のATS機能(オートスキャン機能)は自動で受信可能な局を選択し、メモリー番号01から順番に登録します。

＊ATS機能を使用すると、事前登録されていたメモリーは上書きされます。

1. バンドを選びます。
2. アラーム/ATSボタンを長押し(約2秒間)します。
3. 液晶画面にATSの文字が点滅している間はオートスキャン中です。
4. オートスキャンと自動選局された局のメモリー登録が終わるとメモリー01が引き続き放送されます。

現在時刻／カレンダーを設定する

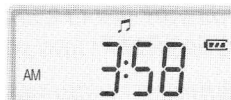
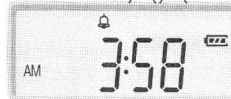
電源が切れた状態で時刻/スヌーズボタンを押すと時間表示が約7秒間点滅します。点滅中にメモリー/選局つまみで設定します。

時刻は12時間表記で表示します。
午前の時刻ではAMマークが表示されます。午後の時刻ではマークは表示されません。
時刻/スヌーズボタンを押すと西暦/カレンダー表示に切り替えられます。
*西暦は2001~2099まで表示できます。

アラーム機能について

アラーム時刻設定

あらかじめ設定した時刻になると自動的に電源が入ります。

1.アラーム/ATSボタンを約2秒間押し続けると時間が点滅します。
2.メモリー／選局つまみ(－)(＋)でアラーム時間を設定します。
3.アラーム/ATSボタンを押すと分が点滅します。メモリー／選局つまみ(－)(＋)で分を設定します。
4.アラーム/ATSボタンを押しアラーム時刻設定を終了します。
5.アラーム/ATSボタンを押すとアラーム設定時刻が確認できます。

アラーム機能について

アラーム機能設定

6.アラーム時刻が表示されている状態でアラーム/ATSボタンを押すとアラーム音が切り替わります。

*イヤホンがセットしてある場合、アラーム音·アラームラジオ音はイヤホンから流れます。

スリープ機能

7.スリープタイマーを設定して自動的に電源を切る機能です。
電源ボタンを約2秒間押し続けるとスリープタイマー表示に切り替わります。
スリープタイマーは90分から80分·70分…10分まで、10分刻みで設定できます。電源ボタンを押して設定します。

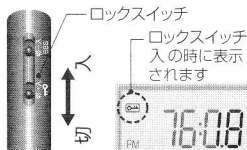
スヌーズ機能（再アラーム機能）

8.アラーム時に時刻/スヌーズボタンを押すと、約5分後再度アラームがなります。続けてスヌーズ機能をご使用になられる場合は、時刻/スヌーズボタンを押します。アラームを解除される場合は、アラーム/ATSボタンを押します。

BBS低音強調機能

9.BBSスイッチを入にすると低音が強調されます。
ステレオ放送などをダイナミックな音で楽しむことができます。

ホールドスイッチの使い方

本体の左側面にあるロックスイッチを「入」方向にスライドさせると、液晶画面にロックマークが表示され、ボタン操作が出来なくなります。鞄やポケットにいれて持ち運ぶときに便利です。「切」にスライドさせると解除になります。（通常は切で使用します。）

リセットスイッチについて

操作が正常に出来なくなった場合に本体側面のリセットスイッチ穴に先端の尖った物でスイッチを押すと、リセットが出来ます。ただしカレンダー/時計/周波数メモリーは消去され工場出荷状態になります。

ご使用上の注意

●近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意しましょう。

●イヤホンでお聴きになる際には、音量を最小にしてから徐々に音量を上げてください。（突然の大音量で耳に障害をおこす恐れがあります。）

お手入れ方法

●本体のクリーニング

本機表面の汚れは柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か、薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いたあと、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを痛めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

故障かな?と思ったら

症　状	チェック項目
電源が入らない	●乾電池が入っていますか。 ●乾電池を入れる向きが正しいですか。乾電池が切れていませんか。 ●ロックスイッチが入になっていませんか。
音が出ない	●乾電池が入っていますか。 ●乾電池の入れる向きが正しいですか。乾電池が切れていませんか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●イヤホンがイヤホン端子に接続されたままになっていませんか。
雑音・音が震える	●乾電池が消耗していませんか。
雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。（携帯電話を本機から離して使用してください） ●テレビやパソコン、蛍光灯などの近くでAM放送を受信していませんか。 （雑音が入る事があります）またテレビの近くで本機を使用するとテレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビなどから離してください。

主な仕様

受信周波数	AM522～1620kHz(9kHzステップ)
	FM76～90MHz(100kHzステップ)
スピーカー	直径40mm
外部出力端子	直径3.5mmステレオミニジャック(モノラル出力対応)
電源	4.5V (単4形乾電池3本：別売)
連続使用時間	(アルカリ乾電池使用、音量中程度にて)
	イヤホン使用時：FM約32時間　AM約32時間
	スピーカー使用時：FM約26時間　AM約26時間
外形寸法	幅62×高103×厚20mm(突起部含まず)
質量	約81g(乾電池含まず)
付属品	●取扱説明書　●保証書　●ステレオイヤホン

*改良の為予告無しに仕様を変更する場合があります。

保証書とアフターサービスについて

●保証書には購入年月日などが必要

この商品には、保証書を添付しております。お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取り、大切に保管してください。必要事項の記載漏れは、すぐに販売店にお申し付けください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

●調子が悪い時は

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪い時は、お買い上げの販売店、または弊社修理窓口にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。
お買い上げの販売店にご相談ください。

MEMO

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   (ロ)お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	AM/FMデジタル選局ラジオ			★お買上げ日: 年 月 日
型番	RAD-F6228M-K/W	品番	07-7908/07-7909	保証期間:本体1年間(お買上げの日から)

お客様
★お名前 様
★ご住所 〒 ー
電話 ( )

修理メモ

販売店
★住所 店名 電話
印

見本

(注)★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●フリーダイヤル(無料) 0120-963-006
●携帯電話・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ
電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00
土・日・祝日及び年末年始は除きます